

# 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第10週（令和8年3月2日～令和8年3月8日）

福岡県感染症情報センター

## ■ コメント

- 結核の報告が15件ありました。本疾患は、結核菌による感染症です。結核の症状（咳、たん、微熱、体のだるさ等）には特徴的なものがなく、初期には目立たないことが多いため、特に高齢者では気づかぬうちに進行してしまうことがあります。定期的に、胸部エックス線検査を含む健康診断を受けることが重要です。結核を発症しても、早期に発見できれば、重症化を防げるだけでなく、家族や友人等への感染拡大を防ぐことができます。咳やたんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続いたりする場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
- 感染性胃腸炎の定点当たり報告数が前週と比べ1.46倍に増加しました。本疾患は、細菌やウイルス等の感染により起こる胃腸炎の総称で、潜伏期間の後、嘔吐、下痢、腹痛等の症状がみられます。家庭や集団生活では感染が拡大しやすいため、トイレの後、調理前、食事前には、流水と石けんによる手洗いを励行しましょう。ふん便や嘔吐物进行处理する際には、使い捨ての手袋・マスク等を着用し、適切に処理しましょう。

## ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	15	145	190	2,165
腸管出血性大腸菌感染症	1	6	11	258
レジオネラ症	1	13	27	304
ウイルス性肝炎	1	1	5	34
急性脳炎	1	6	5	83
侵襲性肺炎球菌感染症	1	28	60	575
水痘（入院例）	1	6	6	120
梅毒	10	116	132	1,657
百日咳	1	75	105	1,715

## ■ 定点把握疾患報告数

■ : 警報

■ : 注意報

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	58	0.48	1.29	5,105	1.34
<b>インフルエンザ</b>	<b>2,390</b>	<b>19.59</b>	<b>0.78</b>	<b>86,175</b>	<b>22.66</b>
急性呼吸器感染症	7,603	62.32	0.93	246,507	64.96
RSウイルス感染症	68	0.97	1.03	1,134	0.49
咽頭結膜熱	43	0.61	1.26	493	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	477	6.81	1.44	5,096	2.21
感染性胃腸炎	553	7.90	1.46	14,538	6.31
水痘	20	0.29	0.95	663	0.29
手足口病	17	0.24	1.89	123	0.05
伝染性紅斑	6	0.09	0.75	286	0.12
突発性発しん	13	0.19	0.72	423	0.18
ヘルパンギーナ	4	0.06	-	29	0.01
流行性耳下腺炎	4	0.06	-	44	0.02
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	7	0.01
流行性角結膜炎	13	0.50	0.93	249	0.36
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	9	0.02
無菌性髄膜炎	1	0.07	-	16	0.03
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.00	119	0.25
クラミジア肺炎	0	0.00	-	5	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	0.07	1.00	30	0.06